

令和5年11月22日
農林水産部

報道関係者各位

OECDの山形県への来訪について

令和5年1月に実施されたルーラルイノベーションに関する調査を踏まえ、OECD（経済協力開発機構）が再び山形に来訪します。

下記のとおりセミナーの開催を予定していますので、県民の皆様への周知にご協力お願いいたします。

なお、詳細については決定後速やかにお知らせします。

記

- 日 時** 令和6年1月11日（木） 午後2時～午後4時30分（予定）
- 場 所** 山形県郷土館 文翔館 議場ホール（山形市旅籠町三丁目4-51）
※オンライン同時配信
- 登壇予定者** OECD CFE（経済協力開発機構 起業・中小企業・地域・都市センター）
ドロテ・アラン・デュプレ部門長 ほか

OECDによるルーラルイノベーションに関する調査の趣旨

- ルーラルイノベーションの取組みは、都市部で先行しているイノベーションを農村部でも起こすことで農村地域の持続的発展を目指すもので、OECDでは加盟国中の5か国（カナダ、日本、スイス、スコットランド、アメリカ）により、2019年から調査を実施しています。
- 日本の調査では、地域資源を活かした地域の取組みや事業継続で重要な人材育成が注目されており、特に地域づくりの取組みや人材育成において全国的に実績のある高橋信博氏（元県職員、現在は山形県農村づくりプロデューサー）の取組みに焦点を当てたことから、山形県が調査対象地として選定され、令和5年1月に調査が実施されました。



問合せ先：山形県農林水産部農村計画課
課長補佐（中山間・棚田農村づくり担当）高橋
電話 023-630-2506
報道監 農林水産部次長 齋藤